

観昌寺涅槃画像

満月の夜でした

お母さんの摩耶夫人も
天上から現れました

沙羅の樹も悲しみのあまり
白く枯れました

インドの北部の川のほとりで、
サーラ樹(沙羅双樹)の間に
頭を北に向けて休みました

動物や昆虫も悲しみました
12種類の干支もいます



涅槃とは、
一切の煩惱が消え、
完全なる悟りに入られた
状態を言います。

お釈迦様は、紀元前383年、
80歳の生涯を閉じられました。

人々は舞踏・歌謡・音楽・花輪・香料を
もって、お釈迦様の遺体を敬い、
重んじ、尊び、供養しました。
そして、火葬に付し、遺骨を
八つに分配しました。

その後、古墳の中から釈尊の遺骨が
発見されました。

その一部が、名古屋千種区にある
覚王山日泰寺に安置されています。

当寺の掛け軸は、明治23年に
檀中より寄付されたものです。